

1 教科について

国語

昨年度の課題

- ① 主語・述語の関係の理解が不十分である。
- ② 登場人物の心情の把握が不十分である。
- ③ 短歌の形式に従って意味のまとまりをつかむ力が不十分である。

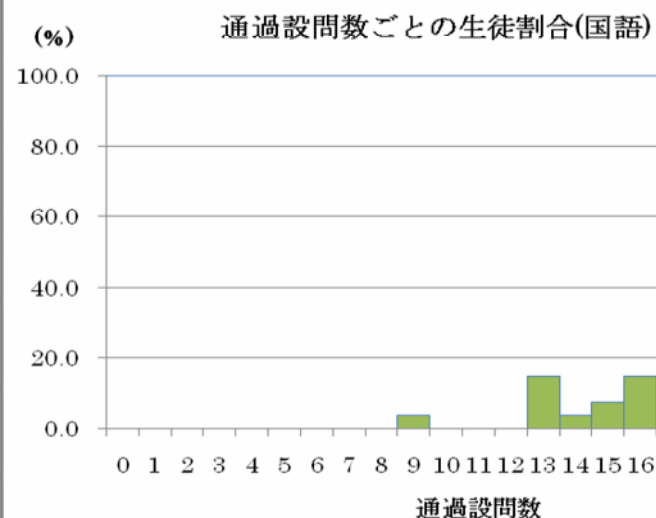
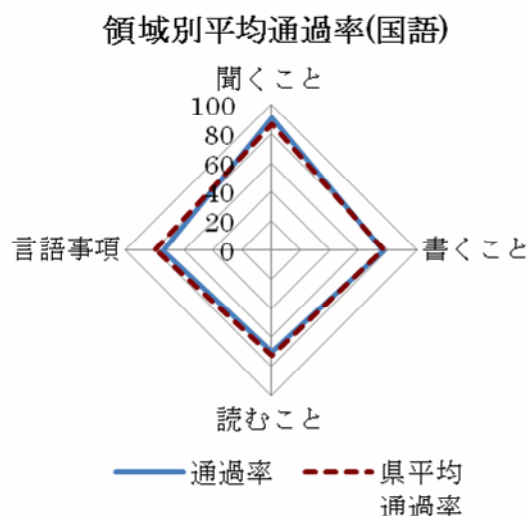
昨年度の課題を受けて  
具体的に取組んだ事項

- ① 文法についての反復学習、小テストを行い、繰り返し指導した。
- ② キーワードに線を引く、抜き出しメモするなどの繰り返し学習を行った。
- ③ 短歌を句の切れめに従って考えて読ませ、作品の基本的な構造をとらえさせる指導をした。

「基礎・基本」定着状況調査通過率

学校平均 74.7%

県平均 77.5%



重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査  
◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・主語・述語の関係の理解が不十分である。
- ◎・・・登場人物の把握ならびに心情の把握が不十分である。
- ◇・・・自分の意見を理由を明確にして説明する力が不十分である。

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①各教材の内容把握の際に、意識的に主語・述語を確認させ、反復学習する。
- ②各教材の内容把握の際に、場面設定・人物設定の確認をさせる。
- ③各教材の中で、感想や意見文など書く場面を多く設定する。

来年度の目標値

- 主語・述語の関係を指摘する問題で5ポイントアップさせる。
- 記述式問題で3ポイントアップさせる。

# 指導方法等の改善計画について

## 数 学

### 昨年度の課題

- ①文章で表された関係（比例、反比例）を読み取れない。
- ②円柱と円錐の体積の関係が理解できていない。
- ③グラフから必要な情報を読み取れていない。

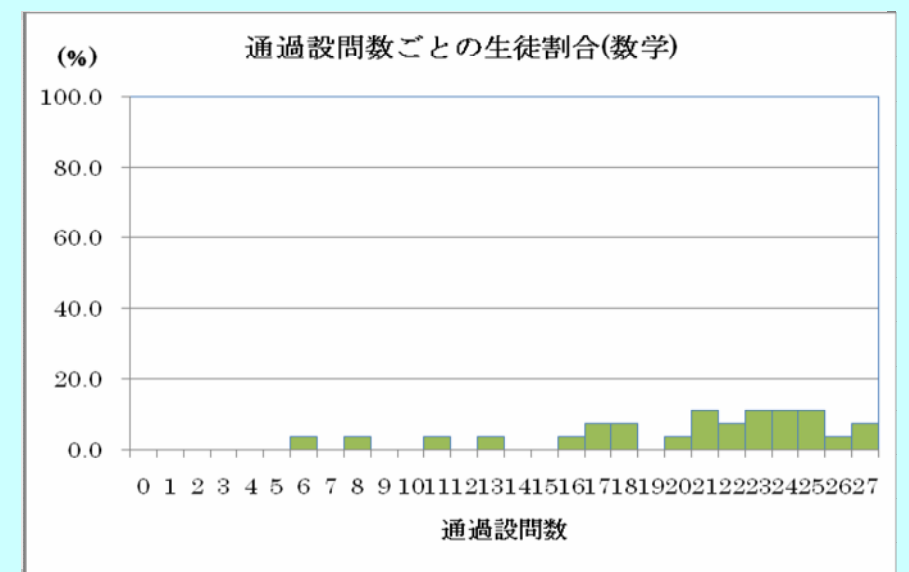
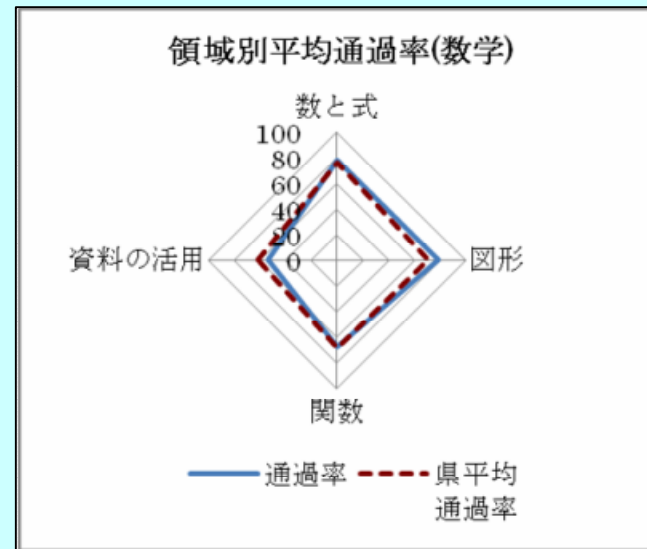
### 昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

- ①文章で表された関係を等式にし、関係を判断させる指導をした。
- ②求積の公式を覚えさせた。また、模型を使って円柱と円錐の体積の関係を確認した。
- ③グラフからいろいろな関係を見つけた。

### 「基礎・基本」定着状況調査通過率

学校平均 75.0 %

県平均 72.6 %



### 重点課題 ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査 ◇ : 全国学力・学習状況調査

- ◎・・・文章で表された関係（比例、反比例）を読み取れない。
- ◎・・・度数分布表から相対度数を求めることが出来ていない。
- ◇・・・平行四辺形になるための条件を求める問題が出来ていない。

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ①文章で表された関係（比例、反比例、1次関数）を求める場合は、まずはじめに関係を等式にすることを指導する。
- ②度数分布表の読み方や、相対度数の意味、求め方を指導する。
- ③図形については重要事項を定期的に復習していく。

### 来年度の目標値

- 関数関係を求める問題を3ポイントアップさせる。
- 相対度数を求める問題を5ポイントアップさせる。

# 指導方法等の改善計画について

## 英語

### 昨年度の課題

- ①適切な語を用いた会話文の組み立ての所で、人称と時制の理解に課題があった。
- ②基本的な文のきまりを理解した作文で、語順の理解に課題のあるところがあった。

### 昨年度の課題を受けて 具体的に取り組んだ事項

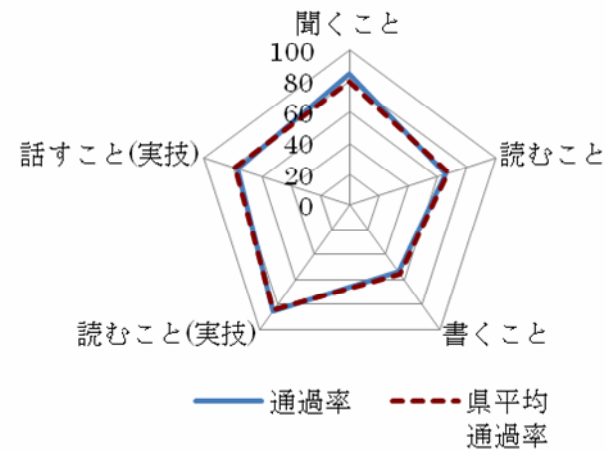
- ① 会話や口頭指導に偏らないよう、宿題や日頃の授業の中で、書く取り組みを意識した
- ② 単元ごとの確認テストで基本的な文法事項の確認・定着を図った。
- ③ 定期テストで書く問題を増やし、意識付けを行った。

### 「基礎・基本」定着状況調査通過率

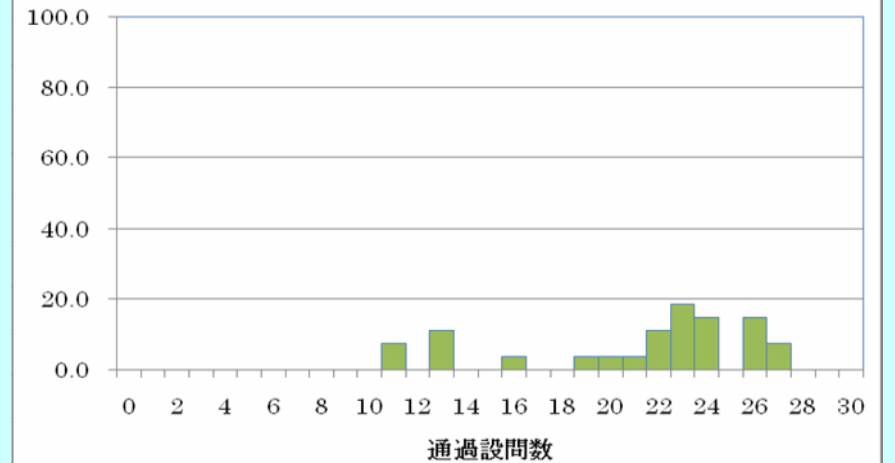
学校平均 70.6%

県平均 70.2%

領域別平均通過率(英語)



通過設問数ごとの生徒割合(英語)



### 重点課題

- ◎ : 「基礎・基本」定着状況調査
- ◇ : 全国学力・学習状況調査
- ◎・・・3人称複数的一般動詞の疑問文の作り方が理解できていない
- ◎・・・英文のきまりを理解した作文が書けていない

### 重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

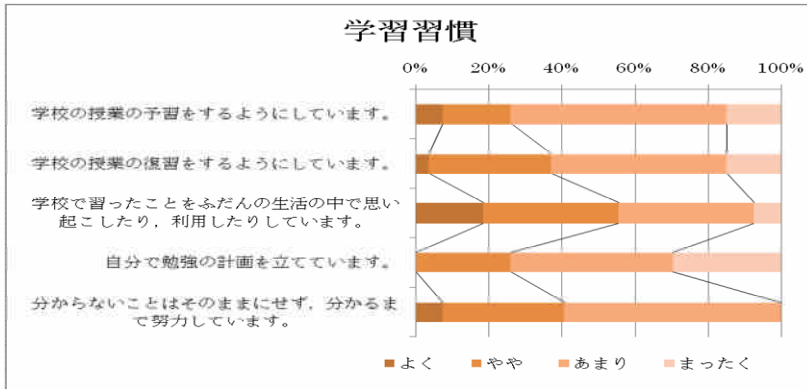
- ①基本的な英語のルールを理解を徹底させる
- ②日常的に、『書く』ことの指導の比重をさらに大きくする
- ③小テストや定期テストなどでの書くことを重視した問題を、その後の指導でも活用し、定着させる

### 来年度の目標値

- 「並び替えて書く」問題での10ポイント以上のアップ
- 「英作文」問題での5ポイント以上のアップ

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査, 生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：学校質問紙, 生徒質問紙)

(1) 生活・学習

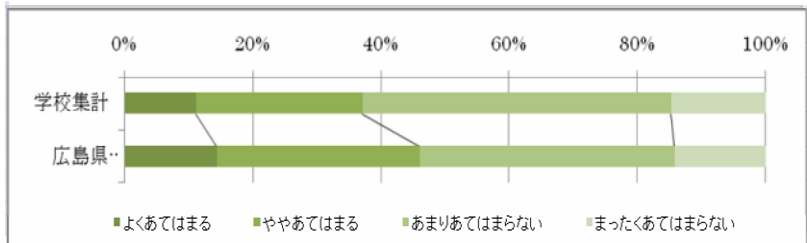


改善したい点 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	今後の具体的な取組の内容
◎「学校の授業の予習をするようにしています」が25.9%「自分で勉強の計画を立てています」が25.9%であった。宿題のように与えられた課題はできるが、自分で考えて行う主体的な学習習慣が身につけていない。 ◇「学校の授業の予習をしている」が8%であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の仕方について、学活・各教科で折りに触れ、指導する。</li> <li>家庭学習の仕方についてまとめたプリントを再度配布する。</li> <li>生活ノートへの家庭学習時間等の記入やテスト発表中の学習計画表の作成を通して、自分で計画・修正してよりよいものにしていく力をつけるとともに、個別指導を行う。</li> <li>自主学习ノートを毎日行うよう習慣づけ、内容が充実するよう引き続き指導する。</li> </ul>

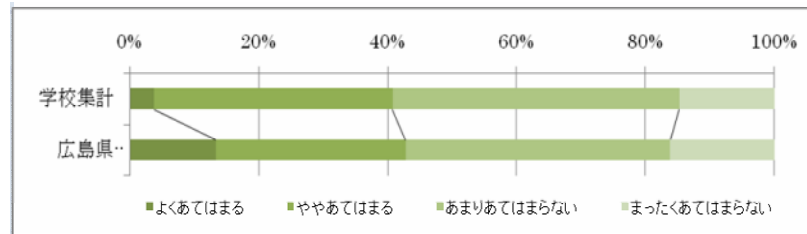
来年度の目標値	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校の授業の予習をするようにしています」を50%以上にする。</li> <li>「自分で勉強の計画を立てています」を60%以上にする。</li> </ul>

(2) 教科

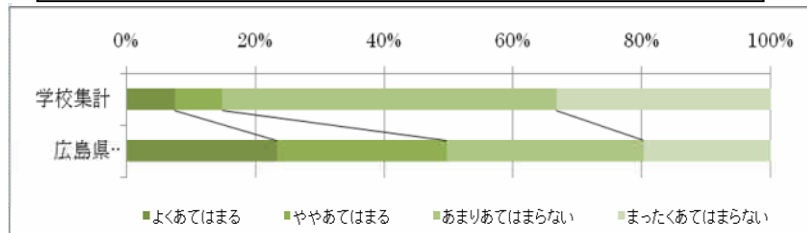
中心となる言葉や文に線を引きながら文章を読んでいます。



理由を挙げて自分の考え方や解き方を説明しています。



わからない単語や熟語は辞書を使って調べています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題 (◎「基礎・基本」, ◇「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎「中心となる言葉や文に線を引きながら、文章を読んでいます」「伝えたいことの内容をはっきりさせ、組み立てを考えて文章を書いています」が37.0%であった。 ◇「今回の国語の問題にあるような長い文章を読むのは難しい」が80.0%であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キーワードに線を引いたり、抜き出したりする作業を確実に行わせ、内容を正確にとらえ、要約する力をつける。</li> <li>文章を書くときには、構想を書かせたり、推敲させて、自分が伝えたいことがしっかり書かれているかを考えさせる。</li> <li>朝読等の指導を通して、読書の習慣をつけさせる。</li> </ul>
数学	◎「理由を挙げて自分の考え方や解き方を説明しています」が40.7%であった。 ◇「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」が48.0%であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定義や法則等を理解させ、使えるようにする。</li> <li>自分の考えや解き方を書かせたり、友達と意見を交流したりする場をつくる。</li> <li>数学が実生活の中で活用されている例を紹介する。</li> </ul>
英語	◎「わからない単語や熟語は辞書を使って調べています」が14.8%であった。 ◎「自分の考えや気持ちなどを英語で話しています」が14.8%であった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書の引き方を指導する。</li> <li>表現活動を積極的に取り入れ、自分の考えや気持ちを英語で表現する機会を増やす。</li> </ul>

来年度の目標値	
	・課題としてあげた項目を10ポイント以上アップさせる。

指導改善のための実施スケジュール

